

平成30年度カレイ類底曳網調査結果

県漁業調査指導船「みやしお」にて、30分の着底トロールによるカレイ類底曳網調査を行いました。この調査はカレイ類の現存量を面積密度法により把握するため、毎年秋(9月, 10月)に仙台湾内の6つの定点(水深30m, 40m, 60m ラインの各2点)で実施しているものです(図1)。今回の主要な漁獲物は水深30mの地点ではジンドウイカ, 小チダイ, 水深40mの地点ではカナガシラ, 水深60mの地点ではジンドウイカ, シログチでした(表2)。今回の調査におけるヒラメ・カレイ類の1km<sup>2</sup>あたりの全地点平均漁獲量は、マコガレイ14.4kg, マガレイ3.3kg, ヒラメ24.5kgで、今回の結果はどの魚種でも2014年以降過去最低の値となりました(図2)。資源水準の目安となる花洲浜の刺網のCPUEの推移では、マコガレイは2018年が過去最高水準(図2-1)と必ずしも本調査結果が仙台湾全体の生息密度を反映していない可能性が示されました。一方でマガレイとヒラメは2015年以降低下傾向にあり、今後資源動向を注視していく必要があります(図2-2, 図2-3)。

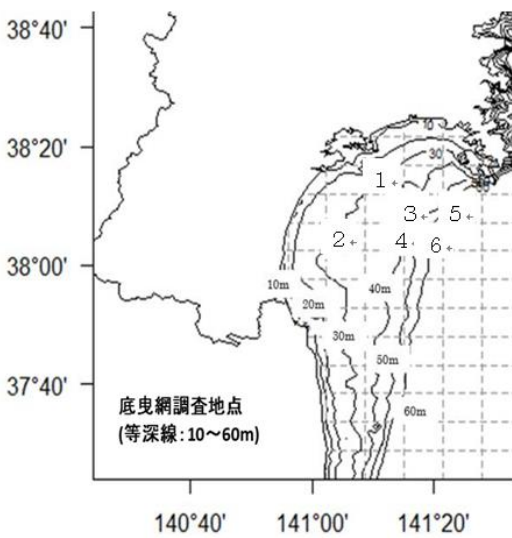


図1. 調査位置

表1. 操業実績

地点番号	St.1	St.2	St.3	St.4	St.5	St.6	
年月日	10月18日	10月16日	10月18日			※破網の恐れがあったため欠測	
時間	13:37	10:15	12:14	10:41	9:18		
位置	北緯	38° 11'	38° 7'	38° 9'	38° 5'		38° 8'
	東経	141° 13'	141° 8'	141° 16'	141° 16'		141° 23'
水深(m)	38.3	33.9	41.5	44.1	64.0		
船速(kt)	2.6~4.0	1.9~2.8	2.5~4.3	2.7~3.8	2.5~3.9		
底水温(°C)	20.1	20.3	20.3	19.1	18.5		

表2. 漁獲物の内訳

地点番号	異体類			その他
	マコガレイ	マガレイ	ヒラメ	
St.1	3尾0.3kg	1尾0.1kg	4尾0.9kg	ジンドウイカ27.4kg、小チダイ8.9kg、小アジ0.4kg、シログチ152尾8.0kg、アカシタビラメ64尾3.4kg、カナガシラ14尾1.0kg等
St.2	3尾1.2kg	2尾0.5kg	4尾3.0kg	ジンドウイカ10.4kg、ショウサイフグ46尾7.8kg、シログチ26尾3.9kg、ホウボウ11尾0.7kg、小チダイ121尾0.4kg等
St.3	0	0	0	ジンドウイカ3.0kg、カナガシラ16尾1.5kg、ホウボウ5尾1.4kg、ショウサイフグ4尾1.0kg等
St.4	3尾1.3kg	0	0	ホウボウ5尾2.2kg、カナガシラ78尾1.5kg、アイナメ2尾1.4kg、チダイ4尾0.7kg等
St.5	0	0	1尾0.6kg	ジンドウイカ10.8kg、シログチ174尾10.1kg、小チダイ5.7kg、アカカマス18尾1.1kg、カナガシラ12尾0.6kg等
St.6	※破網の恐れがあったため欠測			

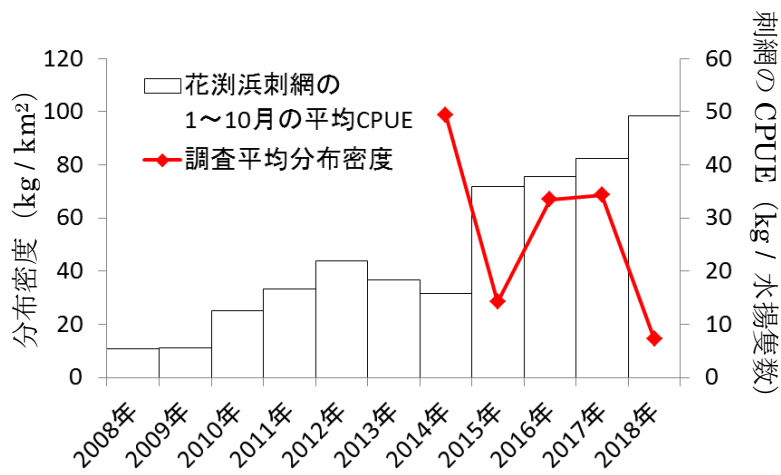


図2-1. マコガレイの分布密度推移と花洲浜の刺網のCPUE

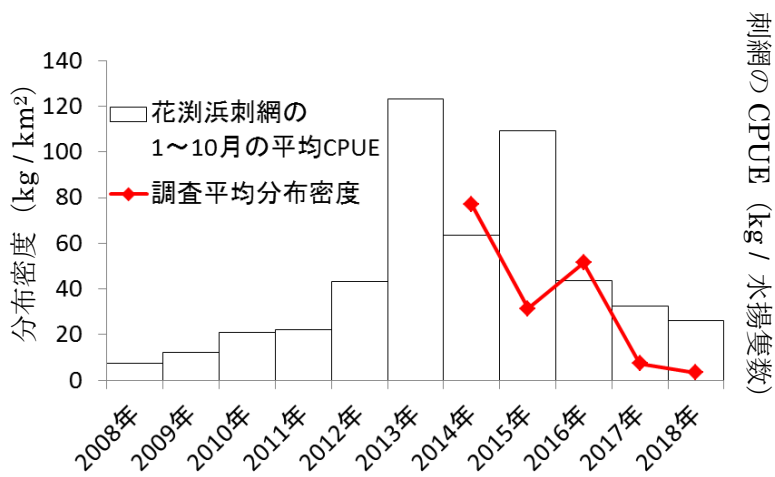


図2-2. マガレイの分布密度推移と花洲浜の刺網のCPUE

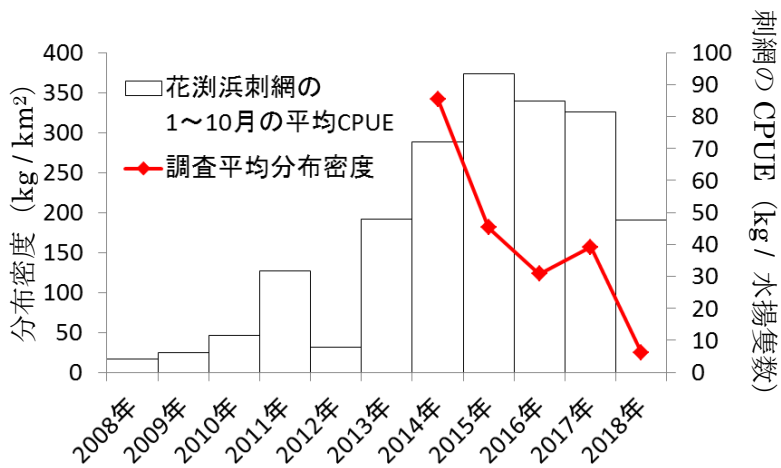


図2-3. ヒラメの分布密度推移と花洲浜の刺網のCPUE